

平成28年度特別選抜（社会人入試）

小論文問題

注意事項

- 1 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙を開けてはいけません。
- 2 問題用紙・解答用紙の定められた欄に必ず受験番号と氏名を記入しなさい。
- 3 問題用紙と解答用紙が別々になっています。表紙は切り離さずに解答しなさい。
- 4 問題用紙は表紙を入れて3枚、解答用紙は2枚、下書き用紙が1枚あります。
- 5 解答時間は60分です。
- 6 解答は解答用紙に横書きに記入しなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問題 1】 次の文章と図から、25 字以内で表題をつけた上で、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

幸福度の研究で今、話題なのが、一時的な快楽と持続的な幸福感の違いです。

所得から得るうれしさは快楽にあたります。当初は幸福感が上昇しますが、すぐに元の水準に戻ります。一方、家族と過ごすことや趣味など、所得に必ずしも直結しない活動は持続的な幸福感を高めるのに役立つというのです。

スイスの政治経済学者ブルーノ・フライは、人間は効用の予測を誤ってしまうと主張しています。家族との時間など本質的な価値をもっている活動を過小評価し、お金や地位などの外面的な価値から得るリターンの方が大きいと勘違いしがちで、その結果、幸福度が低下するのです。

(以下省略)

出典：横浜市立大学教授 白石小百合，やさしいところと経済学，第 9 章 幸福度を測る^[8]，稼得以外の方が持続。日本経済新聞 2015 年（平成 27 年）5 月 14 日（木曜日）26 面

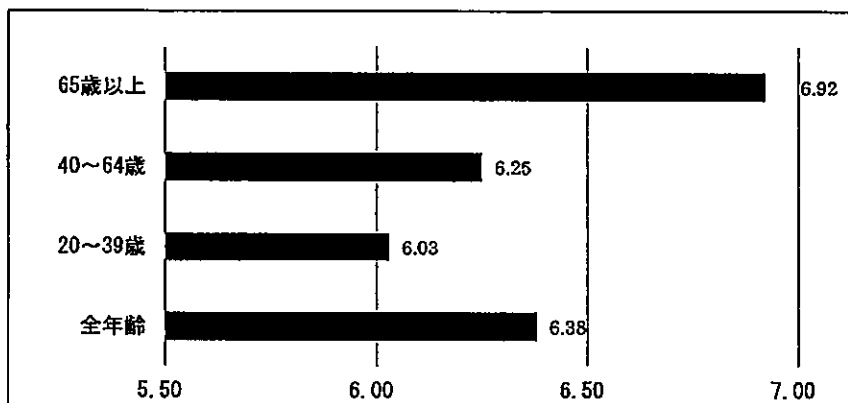


図 幸福度の得点（世代別）

資料：厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「健康意識に関する調査」（2014 年）を基に作成。

注：横軸は幸福度（10 点満点）を示す。